

平成25年度 第1回当別町地域公共交通活性化協議会 議事録

日時：平成25年6月25日 10:00～10:40

場所：当別町役場 第2庁舎

出席委員 18名、欠席委員 4名、オブザーバー 2名、傍聴 2名

1 開会 (司会：増輪事務局長)

2 会長挨拶 (近藤会長)

本日は、時節柄なにかとお忙しい中、平成25年度第1回当別町地域公共交通活性化協議会に出席いただき、ありがとうございます。本日も集まりの皆様方には、日頃から当別町の行政執行にあたりまして、それぞれの立場でご協力いただいておりますことにも、厚くお礼申し上げます。平成18年から運営運行を始めましたコミュニティバスですが、今年で8年目に入ったところでございます。現在までの数字ですが、乗降客数につきましては、ほぼ前年並みに推移しているという状況でございます。この間、皆様方には日頃からバス運行に対しまして、ご協力をいただいておりますことにも、感謝申し上げます。本日の第1回の会議でございますけれども、報告事項といたしまして、平成24年度地域公共交通活性化協議会事業実績、平成24年度協議会決算及び監査報告についてなど、5件につきまして、ご報告をさせていただきたいと考えております。その後、議事といたしまして、平成25年度予算の変更について、平成26年度地域内フィーダー計画について、今後のスケジュールについて、皆様方にご審議をしていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。前回開催いたしました後に、それぞれの組織での人事異動、あるいは団体の役員改選等によりまして、本協議会の委員に変更が生じ、新しく委員になられた方にこれから委嘱状の交付をさせていただきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。開会にあたりましての挨拶とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

3 委嘱状の交付

(司会：増輪事務局長)

ただいま会長からお話がありましたとおり、委嘱状の交付を行う。本来であれば、泉町長が委嘱状を差し上げる場所ですが、所要により、本日は近藤副町長より交付する。お名前をお呼びしますので、その場でご起立いただき、委嘱状をお受け取りいただく。

会長より委嘱状の交付

北海道石狩振興局地域政策部地域政策課長 塚田 みゆき さま

空知総合振興局札幌建設管理部当別出張所長 汐川 雅彦 さま

当別町PTA連合会 会長 大畑 裕貴 さま

当別町女性団体連絡協議会 理事 島田 文恵 さま

スウェーデンハウス株式会社スウェーデンビルズ管理センター長 深村 俊一 さま

4 報告

(1) 平成24年度当別町地域公共交通活性化協議会事業実績について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料1に基づき説明。

新たに委員になられた方もいることから、当別町のバス事業について、簡単に説明する。当別町のコミュニティバスは、一般的には路線バスと異なる。本来であれば、バス会社が運行することとなるが、当別の場合は法律に基づいて協議会を設置し、バス運行の資格を持っている(有)下段モータースに運行委託をしている。さらに、元々当別町には、大学の学生専用、病院の患者用、あるいは、住宅団地を走るバスなどがあり、それらを一元化して取りまとめたものがコミュニティバスである。そういったことから、元々バスを運行していた事業者がバス事業の中心メンバーとなり、本協議会に参加いただいている。なぜ協議会を設置しているかという点、国からの補助制度とリンクする部分が多いことや、この協議会を作ることにより、地域の合意を得ることができれば、独自のルートや独自の運賃設定ができるというメリットがあるからである。例えば、バスの運賃は距離に応じて値段が高くなるが、当別町の場合は、一律200円と独自設定している。こういった設定ができるのは、協議会で議論いただき、合意を得ることで、初めて実現することができる。このようなことから、委員の皆様にご足労いただきながら、会議で審議、議論をあるいは、ご意見いただく場合もございますので、何卒よろしくお願ひしたいと思う。そういったことを念頭にバス事業の報告を進めさせていただきます。

まず、資料1の実績報告書をご覧ください。1ページ目は、協議会の構成員、2ページ目は運行の概要となっている。運行の概要についてですが、先程出ましたとおり、1回1路線200円。回数券であれば、一般の方は、12枚綴りで2,000円。また、1か月の応援券。本来であれば、定期券は指定されたバス停間でしか使えないが、応援券については、乗り放題となっている。また、夏休み冬休み限定で、子ども定期券も作っている。表2-2の系統運行路線ですが、市街地循環線、西当別線、あいの里金沢線、金沢線、青山線の5路線あり、5台のバスで66便運行している。3ページ目には、月別乗降客データを載せている。平成24年度は、延べ131,043人で、昨年度より若干下回っているが、これまで皆様に周知している13万人という数字は、まだ堅持できている。続いて、5ページですが、24年度も残念ながら雪が多く、運休が84便、遅延が16便発生した。これらもまた、今後の課題となる部分である。6ページ以降は、それぞれ路線ごとの乗り込み推移を載せている。続いて18ページですが、運行コストを載せている。24年度は、年間4,783万円程度経費が掛かっている。表の中に1キロあたりの運行コストとあり、1キロ運行するのに大体175円掛かっている。比較対象として、石狩の北部地区でバスを運行するのに、1キロあたり300円以上コストが掛かると言われている。それを考えると経費節減し、半額近い額でバスを運行している。続きまして、運行収入等についてですが、残念ながら、これまで収入合計1,000万円を堅持していたのですが、24年度は9,845,200円となり、1,000万円を割る数字となった。19ページには、応援券の販売箇所、販売枚数について載せており、昨年度の応援券販売枚数は、492枚だった。20ページには、無料利用者数、21ページには、夏休み冬休み子ども定期券の販売についての実績を載せている。昨年度の夏は42枚、冬は25枚販売だった。23ページ以降には、まとめ等を整理しているが、時間の都合上、要点のみ説明する。25ページの「今後の課題」のところに列記しているが、ここ数年、市街地循環線、青山線が非常に苦戦している。この路線をどうしたら利用してもらえるか。また、違う方策で運行形態を作り上げた方がいいのかというところが課題となる。以上、要点を説明させていただきましたが、資料1の報告とする。

質疑なし

承認

(2) 平成24年度当別町地域公共交通活性化協議会決算及び監査報告について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料2-1、2-2、2-3に基づいて説明。

平成25年2月20日に開催した第2回協議会で、予算執行状況をお示しさせていただいたが、その後、予算の増減があり、会計を閉鎖し取りまとめたのが、資料2-1。まず、収入だが、負担金について、34,800,000円の予算に対して、収入は同額。繰越金、繰入金については、11,526,163円の予算に対して、収入は同額。諸収入、雑入ですが、広告収入においては、当初予算894,000円だが、収入は116,000円で、778,000円の減だった。これは、ダイヤ改正に合わせて発行するバスの時刻表に、広告を掲載できるスペースを設け、その広告料を収入として見込んでいたが、広告主を集めきれなかったことから、こういった数字となっている。収入合計ですが、47,230,000円の予算に対して、46,446,188円の実績となっている。続いて、支出ですが、総務費については、会議費、事務局費が計上されているが、予算40,000円に対して、支出額30,200円で、9,800円の減となっている。続いて、事業費の運行事業費について、バス運行委託が予算29,440,000円。決算については、28,888,931円で、551,069円が運行委託費減となっている。広報広聴費については、600,000円の予算に対して、支出が89,250円。510,750円減で交通マップを作成した。予備費については、当初全体予算額の10%程度を積み上げていたが、当初予算3,603,000円に対して、この部分は使わなかったため、そのままを差額として残している。また、将来の為に積立している積立金ですが、当初13,547,000円で、支出額についても同額となっている。合計ですが、当初予算47,230,000円に対して、実績は42,555,381円。収入支出差額3,890,807円を次年度繰越という決算になっている。

続いて、資料2-3には、当協議会が保有している備品等々の台帳となっている。後程、監査報告いただきますが、決算と備品台帳も合わせて監査いただいていることを申し添えて、報告とする。

監査委員（山下委員）

平成25年6月11日に、当別町役場中会議室において、平成24年度当別町地域公共交通活性化協議会に係る会計、並びに出納に関する書類、帳簿、通帳を山内孝司監査とともに確認したところ、適正に行われているものと認められたので、報告する。

質疑なし

承認

(3) 平成25年度地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料3に基づいて説明。

当別町のコミュニティバスは、国交省の補助金を受けながら実施している。その補助金事業名が地域公共交通確保維持改善事業である。この維持改善事業においても、幹線や幹線に接続するフィーダ

一路線と呼ばれる部分と2種類の補助金があり、こちらについては、フィーダー路線についての評価になる。補助を受ける際は、自己評価することになっており、これを皆様にお諮りし、ご説明しなければならない。対象路線については、市街地循環線の昇順、降順、青山線となる。すべて判定はAですが、目的達成状況については、青山線のみ目標に達しなかったということで、C判定にしている。今後色々な努力をしていかなければならないという部分で、C判定という自己評価しているということもお含みいただきまして、報告とする。

(汐川委員)

A・B・Cの評定内容というのは、どういうものか。

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

Aについては、適切に実施されたもの。Bについては実施されていない点があるもの。Cについて、実施されなかったという評定となっている。

(4) ANAとの「環境まちづくりパートナーズ基本協定」の終了について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料4に基づいて説明。

当別町のコミュニティバスは、皆様のご家庭から出た廃天ぷら油等を燃料として運行している。この燃料は、バイオディーゼルと呼ばれるものですが、これを使ってバスを運行することによって、温室効果ガスの排出を削減している。この削減した分を現金化して、大量に排出する企業と相殺する際にお金のやり取りをする。こういったものがオフセット・クレジット（J-V E R制度）と呼ばれるものとなっている。21年度にバスに係るJ-V E R制度を全国で初めて取得し、J-V E Rを取得してすぐ、ANAにCO2を買って貰った。合わせて、まちづくりパートナーズ基本協定を結び、町はANAのPRを、ANAは当別町のコミュニティバスのPRをしていただく。あるいは、オフセット・クレジットでCO2削減の部分を購入していただく。合わせて、ANAの環境部門の担当者を当別町に招聘して、環境教育を実施していただく。そういった、協定を結んだ。この協定は単年ですが、実際は、購入した分を売り払い切って事業を終了するというルールがあり、当別町の場合は、30t CO2を売り切って、この事業が終了するという形があったが、この30tをあらゆる形で売り切った、あるいは相殺したという形で、今回のご報告の運びとなった。30tの振り分けは、ANAオープンゴルフにて、大量にバスを走らせたことや、コンサート等を行う際に出るCO2の部分で9t相殺。同じく、2011年のANAオープンゴルフトーナメントで4t相殺。ANAアニュアルレポートに付加するという部分で13t相殺。2012年のANAオープンゴルフトーナメントで4t相殺となっている。1tあたりの価格が安価なものなので、仲介手数料ですとか、手続きにかかる経費が非常に高額だったので、収入が上がっていない。実際は、オフセットプロバイダと呼ばれる中間取引業者がおり、今回当別町の取り組みが初めてということもあり、宣伝効果なども兼ねながら、負担はオフセットプロバイダがすべて負担いただいた。収入はなかったが、ANAさんと協定を結び、当別町の名前をPRできたという部分ではよかったと事務局では判断している。以上、資料4の説明とします。

質疑なし

承認

(5) ノーマイカーウィークについて

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料5に基づいて説明。

冒頭申し上げますが、協議会のバス事業という位置付けではなく、町が実施します公共交通利用促進事業の一環で実施している。ただ、協議会と連携しながら実施しなければいけない部分もあり、ご報告申し上げます。平成25年6月22日～28日の一週間、無料でバスを解放し、ただ乗るだけではなく、健康や環境の部分を啓発しながら、バスをPRし、利用促進を図るという事業である。現在進行中で、今週末の28日（金）まで実施させていただくことになる。なお、経費等々については、町の事業ということで整理しており、収入欠損については、町事業費から補填されることになることもお含みおきながら、資料5の説明とする。

質疑なし

承認

6 議事

(1) 平成25年度予算の変更について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料6に基づいて説明。

先程、24年度の決算監査報告がございましたが、繰越金の額が確定したことを受け、収入の繰越金の額を補正させていただきたい。平成25年度当初予算3,603,000円を3,890,807円に変更させていただきたい。収入合計は39,049,000円となる。また、支出についても、積立金を288,000円とし、同額の39,049,000円とさせていただく。当該補正予算に関してご審議いただきたい。

異議なし

提案どおり決定

(2) 平成26年度地域内フィーダー計画の変更について

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料7に基づいて説明。

当別町地域内フィーダー系統確保維持計画となっているが、要するに先程申した維持改善事業の補助金をもらうべく、作らなければならない計画と考えていただければ結構です。役場の会計は、4月～3月のイメージがあると思いますが、バス事業については、バス年度というものがあり、10月～9月という年度になっており、26年度の計画を今、提出しなければなりません。ゆえに、今回の協議会で皆様にお諮りをさせていただいている。資料7に書かれているとおりですが、25年度と同様、26年度も進めていきたい。内容としては、平日66便の運行を、5台のバスで進めていきたいということをもとめたペーパーとなっている。また、冬に向けて、ダイヤ改正の検討も盛り込んだ内容になっている。細かな部分については、省略させていただく。是非26年度も当該計画に則り進めていきたいということで、ご理解いただき、ご審議いただきたい。

異議なし
提案どおり決定

(3) 今後のスケジュールについて

事務局（熊谷美しいまちづくり課長）

資料8に基づいて説明。

次回については、9月に冬ダイヤに向けた改正等について、皆様とご議論していきたいと考えている。その後、12月には、ダイヤ改正を目論みたいと思っている。また、年明け1月に開催。さらに年度末には、協議会を開催し、26年度の事業計画や26年度の予算計画評価を審議、協議させていただければというスケジュールになっている。

異議なし
提案どおり決定

7 閉会（近藤会長）